

5 学校評価計画

平成29年度 橋小学校

	評価項目と具体的取組	担当部	評価指標	達成度判断基準	備考
I 学組 校織 運的 當な	【橋っ子の掟】 学校教育ビジョンの「本年度の重点」を理解し、「橋っ子の掟」を徹底させる指導を継続する。	総務部 学級担任	【満足度指標】 児童は「橋っ子の掟」を守ることの大切さを理解し、掟に則り自分の生活を律することができている。	「橋っ子の掟」がしっかり守れている児童の割合が A 85%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 75%以上 C 65%以上 D 65%未満	7月12月 児童アンケート 教職員アンケート
	【学力向上】 わかる授業づくり、朝学習や水曜補習タイムにおける基礎的事項の習熟や活用力の学習指導に努め、基礎的基本的学力の充実、活用力の向上を図る。	教務部	【成果指標】 取組の結果、基礎学力が充実し、活用力が向上している。	国語・算数の単元テストの平均点が85点以上、 C R Tの国語・算数の達成率が全国平均より+5以上であった学年が A 全学年 B 5つの学年 C 4つの学年 D 3つの学年以下	7月12月の 単元テストの平均 2月 C R T 結果
II 確 かな 学 力 の 育 成	【対話的に学び合い、考えを深める授業づくり】 国語科「読むこと」領域において、児童が主体的に学ぶ学習活動を推進し、確かな学びにつながる説明文及び物語教材の指導法の向上を図る。	教育推進部	【満足度指標】 一人学習やノート指導、発問の工夫、対話ワード、プラス1問題に取り組み、読む力をつけるための指導力が向上したと感じている。	学校研究の取組を通して指導力が向上したと感じている教職員の割合が A 100% [8人] B 87.5%以上 [7人] C 75%以上 [6人] D 75%未満 [5人以下]	教員アンケート
	【読書の質の向上】 学年「おすすめの本」の指定や、図書館司書と連携したブックトークや良書の紹介などを通して、読書の質の向上を図る。	教務部 (図書担当)	【成果指標】 学年のおすすめの本を読むことができている。 (低20冊、中・高学年10冊)	学年「おすすめの本」を読み終えた児童の割合が A 95%以上 B 85%以上 C 75%以上 D 75%未満	7月(4冊以上) 12月(8冊以上) 2月(10冊以上) 読書記録
	【家庭学習の充実】 強化週間を設け、家庭学習の充実を図る。宿題の量や自主勉強の充実に努め、学習時間の量と質を充実させる。高学年は、学習内容のモデルを指導し毎日自主的学習に取り組ませる。	教務部	【成果指標】 家庭学習強化週間を設け、学年×10分以上の家庭学習と自主勉強ができている。	強化週間に学年×10分の学習時間を達成した児童の割合が A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月11月2月の 家庭学習強化週間 記録
	【生徒指導の3機能を活かした自己肯定感の向上】 「生徒指導の3機能を生かした授業づくり・学級づくり」の共通実践を推進し、児童の自己肯定感を高める。	生徒指導部	【満足度指標】 生徒指導3機能を意識した日常の働きかけにより、児童が自分の良いところを認められていると感じ、自己肯定感を高めている。	先生はあなたの良い所を認めてくれていると感じている児童の割合が(あてはまるくどちらかというあてはまるを合わせて) A 90%以上 B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	4月質問紙より 4年72%、6年77% 7月12月 児童アンケート
III 豊 かな 人 間 性 の 育 成	【道徳教育の充実】 道徳の時間を要として、授業中の学びを掲示し振り返ることにより道徳的心情を深め、道徳教育の充実を図る。	教務部 (道徳教育推進)	【努力指標】 道徳の授業の学びを掲示し、常に振り返ることができ環境を作ることにより道徳的実践意欲を高めている。	授業後の「学びの足跡」の掲示の数が全校で A 50こ以上 B 40こ以上 C 30こ以上 D 30こ未満	7月 12月 2月 掲示物調査
	【児童の自主性・主体性の育成】 よりよい学校・学級づくりに、児童会や委員会、学級会活動、学校行事等に自主性・主体性をもって取り組める児童の育成に努める。	生徒指導部	【満足度指標】 児童会、委員会、学級活動等において、児童はよりよい学校・学級づくりに進んで取り組めたと感じている。	よりよい校風づくりのために進んで取り組めたと感じている児童の割合が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 児童アンケート
	【体力の向上】 体育の授業や鉄棒を主とした「体力作り1校1プラン」や「スポチャレ」の取組を通して体力の向上を図る。	保健安全・体育部	【成果指標】 児童は鉄棒運動の基本技である逆上がりができている。	逆上がりができる児童の割合が A 70%以上 B 60%以上 C 50%以上 D 50%未満	4月現状 全校調査40% 7月10月12月 実態調査
IV 健 や かな 体 の 育 成	【早寝早起きの習慣】 健康な生活をつくり、元気づく学校生活を送るために、児童に睡眠の大切さを理解させ、家庭と連携し、生活習慣の改善を図る。	保健安全・体育部	【成果指標】 児童は「睡眠時間」の大切さを理解し、1～3年生は21時まで、4～6年生は22時まで就寝できている。	げんきっ子カードの取り組みで就寝時刻を守れた児童の割合が A 80%以上 B 70%以上 C 60%以上 D 60%未満	4月現状 自己判断70% 7月12月 げんきっ子カード
	【たちはな夢プランの推進】 優れた芸術文化や働く人の生き方にふれる特別授業を企画し、生き方にふれることで夢や目標を育んでいく。	教務部	【満足度指標】 たちはな夢プランの特別授業を通して児童が学びを深め夢や目標をもっている。	特別授業の学習や活動を通して楽しい、ためになったと感じた児童の割合が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	特別事業実施時 児童アンケート
V 家 庭 ・ 地 域 と の 連 携	【社会性の育成】 社会性を身につけた児童を地域ぐるみで育成するため、あいさつを重点に、家庭・地域との連携を図り、身近な人に進んで明るいあいさつができる児童を育てる。	総務部 学級担任	【満足度指標】 家庭・地域や学校で、児童は進んで明るいあいさつができている。 【おはよう、こんにちは、さようなら】	進んで明るいあいさつ【おはよう、こんにちは、さようなら】ができた児童が A 90%以上 (但しあてはまるくどちらかというあてはまる場合はB) B 80%以上 C 70%以上 D 70%未満	7月12月 児童アンケート 12月 保護者アンケート 教職員アンケート